

講義名	都市交通計画/地域交通政策			授業形態	
担当教員	長谷川 哲郎	開講期・曜日・時間	前期 木曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	3 年生

主題と概要

【主題】
都市交通の必要性や果たしている役割、今日的な課題や計画論の理解

【概要】
都市における社会経済活動や日常生活を円滑におこなうためには、鉄道やバスなどの公共交通、自動車のみならず二輪車・歩行者にとっても利用しやすい道路交通が確立されていることが必要です。この講義では、社会を支えている都市交通について、その必要性や果たしている役割、今日的な交通ニーズや計画論などについて学びます。

到達目標

- 1) 鉄道やバス、自動車・二輪車・徒歩などの個別交通手段ごとに、役割・特性や現状、今日的な交通課題と対応の方向性を理解するとともに、これらが連携した総合交通体系の概念を理解することができるようになる。
- 2) 交通バリアフリーや交通データについて、また、都市構造や防災等に交通が果たしている役割について理解し、社会と交通が広範な関係を有していることを認識できるようになる。
- 3) 都市交通に関する知識を総合化し、社会活動や日常生活を支える交通体系について、望ましい方向を目指し、問題や課題を抽出し、これらへの対応方策を考えることができるようになる。

提出課題

原則として、毎回の講義内容に関するレポート（ミニレポート課題）の提出を求めます。課題内容や提出方法については、毎回指示します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

ミニレポート課題については、次回講義の冒頭に優良なものを紹介し、質問に対する回答をおこないます。
 毎回講義の冒頭におこなう（前回講義に関する）ミニテストについては、引き続き前回講義内容のふりかえりをおこなうことで理解を深めます。

評価の基準

平常点（講義中のレスポンス、提出課題等）を30点、毎回講義の冒頭におこなうミニテスト、確認テスト（第8回講義）、および定期試験を70点として評価します。
 確認テスト及び定期試験に際しては、携帯電話やパソコンの利用は不可とします。

履修にあたっての注意・助言他

毎回講義の冒頭に、前回講義内容に関するミニテスト（前回講義資料の持ち込み可）をおこないます。遅刻することなく、必ず受けるようにしてください。
 公務員（行政職）を志望する学生は、「交通」は自治体における最も身近な課題のひとつであることから、本授業を通じて交通にかかる知識を深めておくことを推奨します。

教科書

.使用しません。					
----------	--	--	--	--	--

参考図書

.都市交通計画（第3版）、	新谷洋二、原田昇	技法堂出版	3520	9784765518482

その他

講義には、教員のオリジナル資料等を用います。講義時に紙資料として配布するほか、キャンバスクロスにあらかじめ掲載します。

授業計画

- 第01回 イントロダクション
 予習等：シラバス及びキャンバスクロスに事前に掲示する講義資料を熟読し、自分の学びの系統にどのように寄与し、将来にどのように活かせることができるのかをまとめておく。（2時間）
 復習等：指示された講義内容に関するレポートを作成・提出する。また、講義内容をふりかえり、興味深い事項について自己学習する。（2時間）
- 第02回 自動車交通（その1）
 予習等：キャンバスクロスに事前に掲示する講義資料を熟読し、講義の全体概要とポイントを理解しておく。また、ミニテストに備えて、前回講義内容を再復習する。（2時間）
 復習等：指示された講義内容に関するレポートを作成・提出する。また、講義内容をふりかえり、興味深い事項について自己学習する。（2時間）
- 第03回 自動車交通（その2）
 予習等：キャンバスクロスに事前に掲示する講義資料を熟読し、講義の全体概要とポイントを理解しておく。また、ミニテストに備えて、前回講義内容を再復習する。（2時間）
 復習等：指示された講義内容に関するレポートを作成・提出する。また、講義内容をふりかえり、興味深い事項について自己学習する。（2時間）
- 第04回 公共交通（鉄道）
 予習等：キャンバスクロスに事前に掲示する講義資料を熟読し、講義の全体概要とポイントを理解しておく。また、ミニテストに備えて、前回講義内容を再復習する。（2時間）
 復習等：指示された講義内容に関するレポートを作成・提出する。また、講義内容をふりかえり、興味深い事項について自己学習する。（2時間）
- 第05回 公共交通（バス）
 予習等：キャンバスクロスに事前に掲示する講義資料を熟読し、講義の全体概要とポイントを理解しておく。また、ミニテストに備えて、前回講義内容を再復習する。（2時間）
 復習等：指示された講義内容に関するレポートを作成・提出する。また、講義内容をふりかえり、興味深い事項について自己学習する。（2時間）
- 第06回 徒歩・二輪
 予習等：キャンバスクロスに事前に掲示する講義資料を熟読し、講義の全体概要とポイントを理解しておく。また、ミニテストに備えて、前回講義内容を再復習する。（2時間）
 復習等：指示された講義内容に関するレポートを作成・提出する。また、講義内容をふりかえり、興味深い事項について自己学習する。（2時間）
- 第07回 総合交通体系
 予習等：キャンバスクロスに事前に掲示する講義資料を熟読し、講義の全体概要とポイントを理解しておく。また、ミニテストに備えて、前回講義内容を再復習する。（2時間）
 復習等：指示された講義内容に関するレポートを作成・提出する。また、講義内容をふりかえり、興味深い事項について自己学習する。（2時間）
- 第08回 ふりかえりと確認テスト
 予習等：確認テストに備えて、これまでの講義内容を復習する。（3時間）
 復習等：確認テストの内容をふりかえり、理解が不十分であった項目について再確認する。（1時間）
- 第09回 交通バリアフリー
 予習等：キャンバスクロスに事前に掲示する講義資料を熟読し、講義の全体概要とポイントを理解しておく。また、ミニテストに備えて、前々回の講義内容を再復習する。（2時間）
 復習等：指示された講義内容に関するレポートを作成・提出する。また、講義内容をふりかえり、興味深い事項について自己学習する。（2時間）
- 第10回 防災・安全と交通
 予習等：キャンバスクロスに事前に掲示する講義資料を熟読し、講義の全体概要とポイントを理解しておく。また、ミニテストに備えて、前回講義内容を再復習する。（2時間）
 復習等：指示された講義内容に関するレポートを作成・提出する。また、講義内容をふりかえり、興味深い事項について自己学習する。（2時間）
- 第11回 都市構造と交通
 予習等：キャンバスクロスに事前に掲示する講義資料を熟読し、講義の全体概要とポイントを理解しておく。また、ミニテストに備えて、前回講義内容を再復習する。（2時間）
 復習等：指示された講義内容に関するレポートを作成・提出する。また、講義内容をふりかえり、興味深い事項について自己学習する。（2時間）
- 第12回 物流交通
 予習等：キャンバスクロスに事前に掲示する講義資料を熟読し、講義の全体概要とポイントを理解しておく。また、ミニテストに備えて、前回講義内容を再復習する。（2時間）
 復習等：指示された講義内容に関するレポートを作成・提出する。また、講義内容をふりかえり、興味深い事項について自己学習する。（2時間）
- 第13回 交通データ
 予習等：キャンバスクロスに事前に掲示する講義資料を熟読し、講義の全体概要とポイントを理解しておく。また、ミニテストに備えて、前回講義内容を再復習する。（2時間）
 復習等：指示された講義内容に関するレポートを作成・提出する。また、講義内容をふりかえり、興味深い事項について自己学習する。（2時間）
- 第14回 将来交通量予測
 予習等：キャンバスクロスに事前に掲示する講義資料を熟読し、講義の全体概要とポイントを理解しておく。また、ミニテストに備えて、前回講義内容を再復習する。（2時間）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

- この講義は、本学のディプロマ・ポリシーと次の点で関連します。
- 1) 流通科学大学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力
 知識を意欲に転換することができる。論理的思考力を持った人材
 創造力(新しい視点と豊かな発想)を持った人材
 - 2) 経済学部 経済学科の学生が卒業時に身につけておくべき資質・能力
 人間、社会、自然に関するこれまでの学問的成果の基礎を身に付け、現代社会の諸問題を幅広い観点から考察し、課題を提案することができる。
 経済学を基盤として、複雑化する地域社会で生起する問題を読み解き、解決策を提案することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

講義中には、レスポンス等を利用して受講生の意見や考え方を求めることがあります。
 また、毎回講義の冒頭におこなうミニテストや、講義後に提出するミニレポート課題には、Forms等を利用します。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
 コンサルタントとして都市交通計画に従事した経験や、地方自治体職員として交通政策の立案と具体化に取り組んできた実績を活かし、具体的な事例紹介や実務での知見を伝えることで、都市交通計画にかかる理解の深化を図ります。

備考

1) 静穏な受講環境の保持
 周囲の受講生に迷惑をかけるような行為（講義に無関係な私語、講義途中の入退室、その他非常識な行為など）は固く禁じます。該当する行為と担当教員が判断した場合には、退室その他の措置をとることがあります。